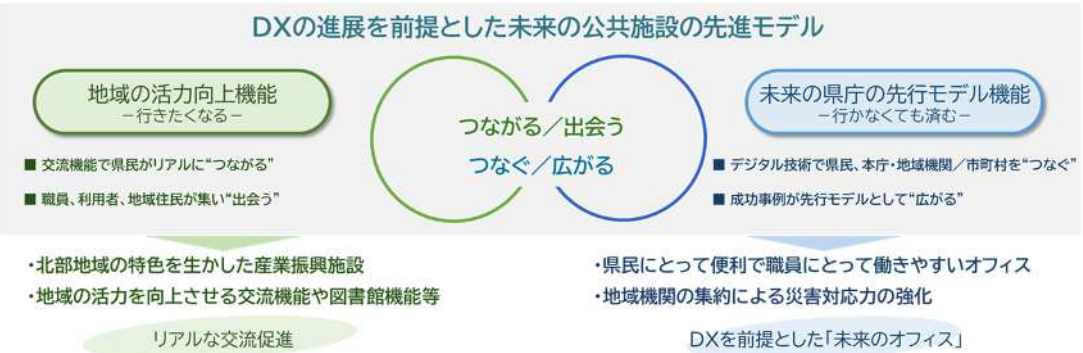


# 北部地域振興交流拠点基本計画【概要版】

## 1 基本理念・基本方針

- 基本理念を「DXの進展を前提とした未来の公共施設の先進モデル」とし、基本理念に基づき5つの基本方針を定めました。



- 2つの機能が最大限発揮されるための施設配置とし、機能ごとに整備します。

### A棟：地域の活力向上

A棟は、11階建てとします。必要な駐車台数を効率的に確保するため、立体駐車場を北側敷地に配置します

### B棟：未来の県庁の先行モデル

B棟は、3階又は4階建てとします。敷地内に来庁者用と公用車の駐車場と屋外倉庫等を配置します

A棟	項目	B棟
地上11階	階数	地上3階又は4階
約8,153㎡	敷地面積	約21,282㎡
約35,000㎡	延床面積	約11,000㎡

県北部地域の活力の向上	未来の県庁の先行モデルの実現	安心・安全の確保	環境への配慮	誰もが使いやすい施設
県北部地域における産業集積、人材、観光資源などの魅力や強みを反映した交流の場、にぎわいの場の創出による地域の活力向上	「県民にとって便利であること」及び「職員にとって働きやすいこと」という2つの視点に基づく未来の県庁の先行モデルの実現	大規模災害のリスクに対し利用者・県民の安全を確保でき、地域の災害対応の拠点として十分な機能を備えた施設・体制の構築	社会の持続可能性を維持し、カーボンニュートラル社会実現に寄与する高い環境性能	誰もが、使いやすく、わかりやすく、安全に利用できるユニバーサルデザインに配慮

## 2 A棟の導入機能と規模

- A棟の施設規模は、基本構想において想定した規模と同様に、**約35,000㎡**と想定します。

機能	概要	想定面積 (共用部を含む)
①産業振興機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内有数の農業地帯である特色を活かし「食と農のイノベーション拠点」として整備します</li> <li>商談会など多様なイベントに活用できるコンベンションホールや coworkingスペース、食品の商品開発・製造ができるレンタルフードファクトリーのほか試食会や発表会ができるデモキッチンなどを整備します</li> </ul>	約5,740㎡
②新県立図書館 (窓口機能)	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術を最大限活用した非来館型サービスを目指しつつ、地域資料など貸出しできない資料の閲覧やレファレンスなどの来館サービス機能をコンパクトに整備します</li> <li>県立図書館が持つ幅広い資料や情報を活用した講座や講演などを実施し、県民の学びを深めるとともに地域の賑わい創出にも寄与します</li> </ul>	約1,240㎡
③県立高等看護学院	<ul style="list-style-type: none"> <li>シミュレータの導入やVR等を活用した臨場感のある授業など時代に即した学習環境を整備します</li> <li>1学年最大120人の定員に対応できる教室・実習室のほか、学生同士の交流・地域との交流を深めるスペースを整備します</li> </ul>	約5,500㎡
④県立病院サテライト	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療機関との連携を図りながら県北部地域の高度専門医療提供体制を充実させます</li> <li>県立病院からのオンライン診療のほか、退院後の通院診療(出口機能)や地域の医療機関からの紹介初診患者の診療(入口機能)を行います</li> </ul>	約710㎡
⑤熊谷市役所	(熊谷市が策定した「熊谷市庁舎整備基本計画」による)	約21,630㎡
合計(端数処理をしているため合計値は一致しない)		約34,830㎡

## 3 B棟の導入機能と規模

- B棟の施設規模は、基本構想において想定した規模と同様に、**約11,000㎡**と想定します。

用途	概要	想定面積
①来庁者ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>来庁者の目的等にあわせた多様な打合せスペース等を配置します</li> <li>県庁や市役所等に関する手続も遠隔で行える機能の実現を目指します</li> </ul>	約300㎡
②執務ゾーン ・専用諸室	<ul style="list-style-type: none"> <li>ABW型のオフィスとして、ミーティングスペースやマグネットスペースを整備するとともに、業務の内容や性質に応じてエリアを区分します</li> <li>県南部が甚大な災害により機能不全となった場合のバックアップ体制を担える機能とスペースを確保します</li> <li>将来の行政需要の変化に伴うレイアウト変更等にも、柔軟に対応可能な可変性を備えます</li> </ul>	約6,550㎡
③執務・来庁者ゾーン (会議室ゾーン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員と来庁者等の打合せや事業者とのコラボレーションのほか記者会見など多様な用途に活用することを想定します</li> <li>会議室ゾーンの一体利用による災害対応業務での活用も想定します</li> </ul>	約650㎡
④共用部ほか	エレベーター、階段、トイレ、倉庫 等	約3,200㎡
合計(端数処理をしているため合計値は一致しない)		約10,700㎡

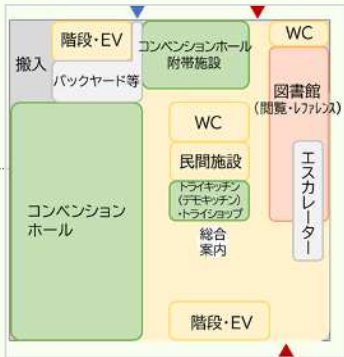
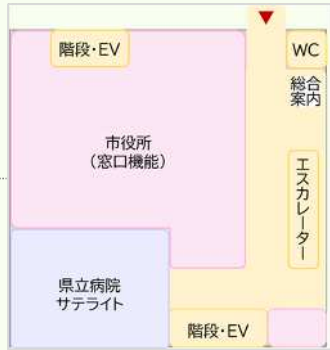
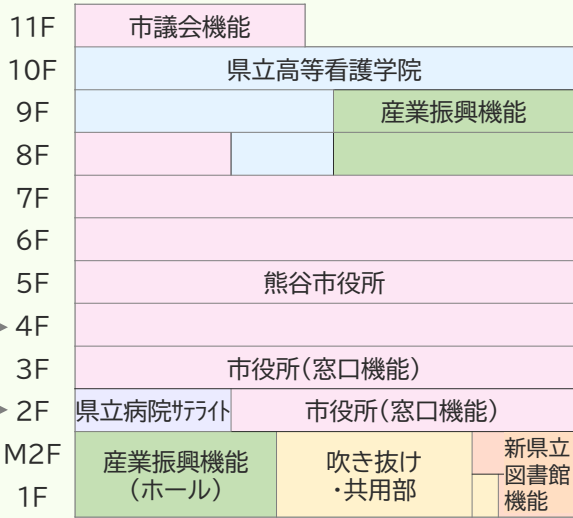
# 北部地域振興交流拠点基本計画【概要版】

## 4 施設計画

※ 本計画は、建築計画として成立することを検証するとともに、整備費の概算のための根拠を整理することを目的に作成したものであり、施設整備の具体的な計画を示したものではありません

### A棟

- 「各機能の必要面積の確保」「利用者の利便性」「地域の活力向上機能の発揮」などの視点から複数のフロア案について整理・比較検討を行った結果、下図のフロア構成(11階)を計画します。
- 1階にコンベンションホール等と、新県立図書館を配置して、2階に県立病院サテライトを配置します。



立体駐車場

- 主な方向性: 免震構造、中圧ガスの活用、内装木質化(県産木材活用)

### A棟・B棟共通

- 防災計画: 大規模災害時も災害対応機能としての役割を求められることから、十分な耐震性能を確保します。
- 環境計画: カーボンニュートラル社会実現に寄与する高い環境性能として、ZEB Ready以上の性能を目指すとともに、ペロブスカイト太陽電池など、今後普及が見込まれる技術の実装を想定します。

## 5 事業費

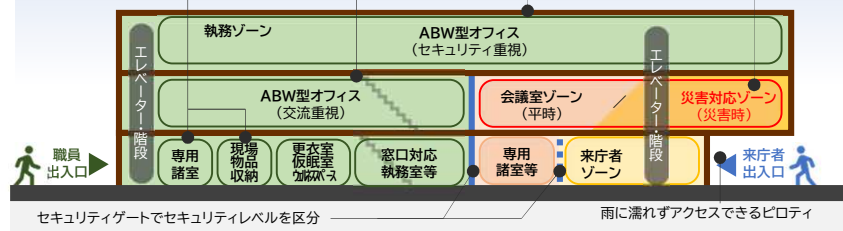
- A棟の整備費は、約426.6億円、管理運営費は、約3.9億円/年と想定します(いずれも税込)。なお、県と熊谷市の負担割合については、専有面積割合を基本として、今後調整します。
- B棟の整備費は、約145.9億円、管理運営費は、約1.5億円/年と想定します(同)。
- 今後、物価の変動や計画内容の精査等により、費用が増減する可能性があります。
- 整備にあたっては、補助金や地方債など活用可能な財源を検討し積極的に充当します。

A棟	項目	金額(税込)
整備費	設計・工事監理費	約20.5億円
	工事費	約406.1億円
	合計	約426.6億円
管理運営費		約3.9億円/年

B棟	項目	金額(税込)
整備費	設計・工事監理費	約5.2億円
	工事費	約140.7億円
	合計	約145.9億円
管理運営費		約1.5億円/年

### B棟

- 専用諸室、現場物品収納は搬出入を考慮して、低層階に集約
- 内階段でコミュニケーション活性化
- 木造化を検討
- 会議室ゾーンは平時と災害時で異なるセキュリティレベルを設定・運用



- セキュリティゾーンを設定した上で、業務の性質によって執務エリアを区分します。
- ※ 3階又は4階建てを計画しますが、本計画では3階建ての場合を示しています

### デジタル技術による来庁者対応の最適化・効率化



- デジタル技術を活用した最適な対応を目指します。

### 多様な執務環境を備えたABW型オフィス



- ABW型オフィスとし、業務内容に応じて働く場所を選択できる執務環境とします。

### 災害対応機能等の確保



- 県南部に甚大な災害が発生した場合における県庁機能のバックアップ体制に必要な面積や機能等を備えます。

- 県庁のバックアップ機能、電源等の多重化、内装木質化/木造化の検討(県産木材活用)

## 6 事業手法・事業スケジュール

- 事業手法については、全31者の事業者に対してサウンディング調査を実施し、参画可能性を確認した上で、定性及び定量の両面から評価し検討しました。
- A棟・B棟ともに、DB(設計・施工一括発注)又はDBM(設計・施工・維持管理一括発注)を採用することとし、令和8年度に事業者対話を重ね、事業の成立可能性が高い最適手法を決定することとします。
- 最短でA棟は令和15年度、B棟は令和12年度に竣工することを想定します。

	令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)	令和11年度(2029)	令和12年度(2030)	令和13年度(2031)	令和14年度(2032)	令和15年度(2033)
A棟	入札公告準備(要求水準書の検討等)	入札公告、契約締結	整備(設計と建設で約66カ月)					
B棟			整備(設計と建設で約38カ月)				供用開始	
								供用開始

※ A棟・B棟ともにDBの場合のスケジュール